

令和2年度  
文化芸術による  
子供育成総合事業  
—巡回公演事業—

【オーケストラ公演】

バッハからベートーヴェンまで  
日本テレマン協会  
since1963

# テレマン室内オーケストラ

## Telemann Chamber Orchestra



### 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

## 演奏曲目

## [1] G.Ph. テレマン：組曲 二長調 TWV55:D18 第1曲「序曲」

18世紀当時、バッハを凌ぐ名声を誇り、5000曲以上作曲したといわれる作曲家、テレマン。バッハよりもバロック時代の「スタンダード」と言える作品を多く書いており、随所に聴き手を惹きつける仕掛けが施された「楽しさ」を重視した作風でした。この組曲は7曲の短い曲で構成されています。

## [弦楽器のお話]

## [2] ヴァイオリン - A. ヴィヴァルディ：「四季」より「春」第1楽章

ヴィヴァルディはヴァイオリンの名手でした。たくさんの協奏曲を残していますが、その中でも「四季」はもっとも有名。自然を描写した詩をもとに書かれています。

## [3] 【体験プログラム】 クイズコーナー - 「四季」にはどんな情景が描かれているのか？

## [4] ヴィオラ - G.Ph. テレマン：ヴィオラ協奏曲 第2楽章

普段は伴奏の役割が多い楽器「ヴィオラ」。しかし、ヴァイオリンともチェロとも違う、独特の音色が魅力的な楽器です。

## [5] チェロとコントラバス - A. ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第2楽章

低音を担当するチェロとコントラバスによるソナタ。落ち着いた響きがとても魅力的です。

## [6] 弦楽合奏 - J.S. バッハ：管弦楽組曲 第3番 第2曲「エア」

そのメロディーの美しさから後世まで愛され、様々な編成に編曲された、誰もが知る名曲です。

## [7] 【体験プログラム】 ヴァイオリンを弾いてみよう！ - J.S. バッハ：ガヴォット 長調

## [8] 【チェンバロのお話】 J.S. バッハ：インヴェンション 第1番 八長調

ピアノがハンマーで弦をたたくのにに対して、チェンバロは弦をはじいて音を出します。この曲はバッハがチェンバロの学習のために書いた曲です。右手のパートと左手のパートの対話をお楽しみ下さい。

## [9] 【体験プログラム】 バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～

G.F. ヘンデル：水上の音楽 第2組曲「メヌエット」

## [10] G.Ph. テレマン：組曲 二長調 TWV55:D18 第3曲「ロンド形式のガヴォット」

最初に演奏した組曲の第3曲です。「ガヴォット」は舞曲の一種で、「ロンド形式」は1つのメロディーが、別のメロディーを挟みながら何度も出てくることを指します。

## - 休憩 -

## [11] 【金管楽器と打楽器のお話】 G.Ph. テレマン：組曲 二長調 TWV55:D18 第4曲「パッサカイユ」

最初に演奏した組曲の第4曲です。「パッサカイユ」は3拍子の曲で、変奏曲の一種です。この曲はトランペットとティンパニが活躍する華やかな曲です。

## [12] 【歌のコーナー】 G.F. ヘンデル：オンブラ・マイ・フ

バロック・オペラを代表する歌劇「セルセ」の中の有名なアリアです。

## [13] 【体験プログラム】 共演のコーナー

## 【木管楽器のお話】

## [14] オーボエとファゴット - G.F. ヘンデル：2つのオーボエとファゴットのための行進曲

## [15] J.S. バッハ：管弦楽組曲 第1番 第7曲「パスピエ」

ヘンデルの行進曲は2つのオーボエとファゴットだけのために書かれた曲で、音楽劇などに挿入された短い曲です。

バッハの管弦楽組曲の「パスピエ」は17世紀にパリで大流行した舞曲の形式です。

## [16] リコーダー - G.Ph. テレマン：四声部のための協奏曲 長調 第1楽章

## [17] A. ヴァルディ：リコーダー協奏曲 RV445 第3楽章（小学校）

## [17] G.Ph. テレマン：リコーダー協奏曲 長調 第2楽章（中学校）

皆さんが学校で習うリコーダーは、もともと鳥に歌を覚えさせるための楽器だったそうです。バロック時代には大流行し、ソナタや協奏曲もたくさん作られました。

## [18] 【体験プログラム】 指揮体験コーナー - G.F. ヘンデル：組曲 変口長調 HWV352 第3曲「アルマンド」

## [19] G.Ph. テレマン：組曲 二長調 TWV55:D18 第7曲「ファンファーレ」

最初に演奏した組曲の終曲「ファンファーレ」です。ごく短い曲ですが、華やかで楽しい曲です。

# しゅつえんしゃ 出演者

し き たかまがりのぶかず  
指揮 / 高曲伸和

むらたよしお  
リコーダー / 村田佳生

うた しかい なかむらともこ  
歌・司会 / 中村朋子

あさいさきの  
コンサートマスター / 浅井咲乃

しつない  
テレマン室内オーケストラ

## おんがく なに バロック音楽って何??

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うと江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家はJ.S.バッハ、G.F.ヘンデル、A. ヴィヴァルディ、G.Ph. テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。どういった時に演奏されたかということ、教会の儀式

の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽(歌)が

主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



きゆうてい えんそう いうす  
宮廷での演奏の様子

## がっき 楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラ

バスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。



そく がっき  
ヴァイオリン属の楽器  
(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)



チェンバロ



チェンバロの鍵盤



# プロフィール

## ●指揮：高曲 伸和

大阪音楽大学で学んだ後、指揮とバロック音楽について日本テレマン協会音楽監督 延原武春のもとで学びました。バリトン歌手としても活動しており、日本テレマン協会の演奏会ではチマローザ作曲 歌劇「宮廷楽師長」などのソリストをつとめました。テレマン室内合唱団に所属しています。

## ●ソプラノ・司会：中村 朋子

テレマン室内合唱団のソリストとトレーナー。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。主にバロック音楽や宗教音楽の分野でソリストとして活躍しています。これまでにバッハ作曲「マタイ受難曲」やヘンデル作曲「メサイア」、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」などでソリストをつとめました。

## ●ヴァイオリン：浅井 咲乃

テレマン室内オーケストラのコンサートマスター。ヴィヴァルディの「四季」が得意で、音楽雑誌でも「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得ました。東京での公演も「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道されました（共同通信）。2012年の9月にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務めています。

## ●リコーダー：村田 佳生

大阪音楽大学でバロック音楽の演奏習慣について学びました。その後東京の桐朋学園大学で2年勉強し、ヨーロッパへ留学。アムステルダム音楽院やユトレヒト音楽院でリコーダーを学び、美術館を巡るコンサートに出演もしました。2005年に帰国し、関西を拠点として演奏活動を行いながら、各地でリコーダーの指導も行っています。

## ●テレマン室内オーケストラ

テレマン室内オーケストラは1963年に結成された室内オーケストラで、出来てから50年以上が経ちます。室内オーケストラというのはふつうのオーケストラより人数が少ないオーケストラのことです。テレマン室内オーケストラはこれまでに多くの本邦初演を行ってきました。バッハやモーツァルトの時代には今と楽器の形が少し違っていたので、それぞれの時代に合わせた楽器を使って演奏したりもしています。これまでに「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」、「サントリー音楽賞」等を受賞しました。大阪では中央公会堂や大阪倶楽部という古い建物でコンサートを開催しています。そういったコンサートから指揮者高曲伸和をはじめ様々な奏者が生まれています。

## ●テレマンとは？

ゲオルク・フィリップ・テレマン——ドイツ人の作曲家の名前です。18世紀にはバッハ、ヘンデルも足元に及ばないほど高い評価を受けていたそうです。私たちはテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲する」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集です。



## 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です。～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会が、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。